

019

医療機関に特化した BCP 対応ツール「レスポンスム(respon:sum)」により、災害時の医療体制を強靱化

取組主体

株式会社 Smart119

従業員数

想定災害

実施地域

25 人

全般

千葉県

・医療機関に特化した BCP 対応ツール「レスポンスム」は、災害時に、迅速な職員の安否確認及び招集要請及び情報の一元管理を実現し、災害医療体制を強靱化する。平時には、健康管理ツールとしても活躍する。

1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

医療機関に特化した BCP 対応ツール「レスポンスム」

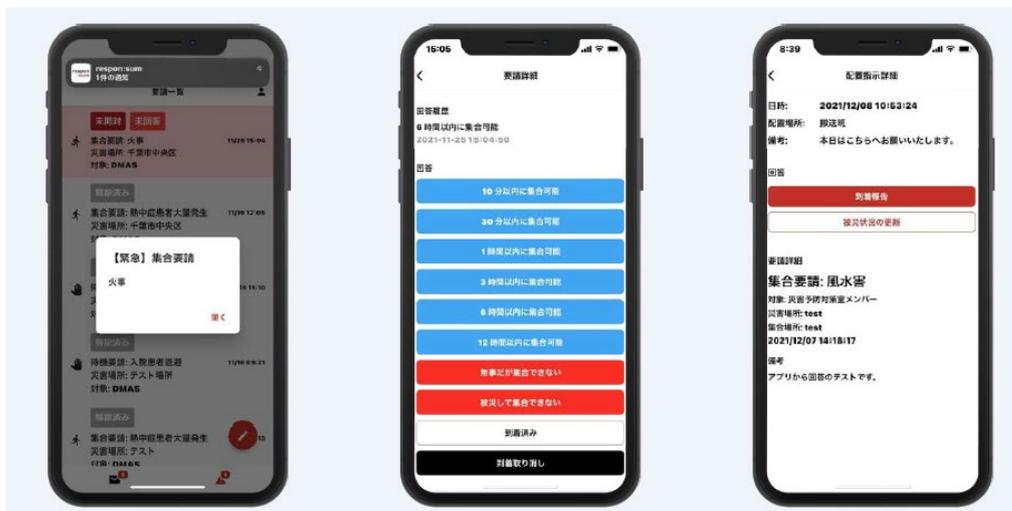
- ・株式会社 Smart119 は、現役の救急医が設立した千葉大学発医療テックベンチャーである。同社は、消防などの自治体向けサービス・医療機関向けサービスを開発し、ICT（情報通信技術）/AI（人工知能）を用いて、医療や緊急支援の現場での課題解決に取り組んでいる。
- ・日本医療研究開発機構（AMED）の救急研究開発課題である「早く正しい救急医療実現のためのシステム研究開発課題」で得た研究成果を発展させ、社会実装するために結成された同社は、救急医・救急救命士・ICT 専門家が核となる組織である。
- ・同社は、医療機関向け BCP 対応（安否確認&集合要請）ツールである「レスポンスム」を開発した。
- ・平時には、健康管理ツールとして、医療機関内のスタッフの体調を即時集計・一元管理する等の活用が可能で、発熱者の抽出を可能にする。
- ・災害時には、災害医療体制を強靱化するために、災害時の職員の状況を迅速に収集できる。職員の安否だけでなく、誰がいつ病院にこられるのか/誰をどこに配置するかなどを、普段から使い慣れている連絡手段（LINE/アプリ/メール）で簡単に通知・回答することが可能である。

医療機関のニーズに現役の救急医の視点を活かしたシステム開発

- ・夜間や休日など院内の医師のリソースが少ない時、医師の招集を迅速に行うために「救急患者受入体制強化サービス：ACES」の開発を行ったことが取組の始まりである。職員の迅速な招集は、救命センターだけでなく、病院全体にも必要な場面があると考え開発されたのが、医療機関向け BCP 対応（安否確認&集合要請）ツール「レスポンスム」である。医療機関では、救急患者の収容依頼が重なり、人手不足となる場合、院外のスタッフにも緊急連絡・集合要請をする必要がある。

・このような、一般企業向けの安否確認システムではカバーしきれない医療機関のニーズに、現役の救急医の視点を活かして対応している。

・医療機関の場合、災害時の職員の具体的な状況の把握・共有は初期対応として重要な要素である。そのため、職員がいかにスムーズに自身の状況を回答しやすい設計になっているかが重要である。



「レスポンスム」利用イメージ

国土強靱化

- ・当該製品は、アプリ・LINE・メールなど普段から使い慣れているツールで災害発生の通知を受信でき、通知画面より1クリックで回答可能である。また、予め登録しておいた災害時の体制図に基づき、各職員に配置部署の通知を出すことができる。
- ・さらに、職員の配置状況を管理画面で確認できる機能を有する。これにより、緊急参集に応じて、配置図上で最適な災害対応部署に再配置することを可能にしている。

2 取組の平時における利活用の状況や効果

- ・いざという時に使いこなせるよう、普段使いの機能として「健康管理機能」、「掲示板・メッセージ機能」を実装する。毎日の健康管理や、院内でのお知らせについても、「レスポンス」を使用し、アプリやLINE、メールで通知を受けることができる。院内の日常業務を効率化するだけでなく、普段使いもできるようにすることで、いざという時に使いこなせるようなシステムとなっている。

3 現状の課題・今後の展開等

- ・医療機関における災害時の初期対応では、各部署の被災状況の報告や、時系列での災害情報を記録する「クロノロジー」の作成も行われる。しかし、「レスポンス」で対応可能な部分は、職員の状況の収集・配置場所の指示にとどまっている。機能を形として追加することは容易であるが、いざという時に直感的に使いこなせることが重要であるため、システムで対応すべき範囲や直感的な使用しやすさを考慮しながら開発を進めていくことが重要だと考える。

4 周囲の声

- ・人員配置に変更があった際も個人の各端末にすぐに反映されて情報共有が可能になるなど、配置と役割の『見える化』が実現され、とても便利になったと感じています。(導入した医療機関)
- ・はじめは、使用や入力に躊躇する人もいましたが、簡便な操作で、職員健康状況が一目でわかりますから、健康管理と院内クラスター対策に「レスポンス」抜きでは考えられない、と感染制御室も頼りにしています。(導入した医療機関)

担当者の声

- ・「レスポンス」に限らず、Smart119社では消防と医療機関の情報共有を効率化する「救急医療情報システム Smart119」の開発・提案にも尽力しております。幅広い観点から、ICTを活用した救急医療現場の効率化に取り組んでおります。

問合せ先

株式会社 Smart119 法人番号：9040001104713

TEL：043-312-7471 FAX：043-312-7481 E-Mail：info@smart119.biz

動画

—

サイト URL

